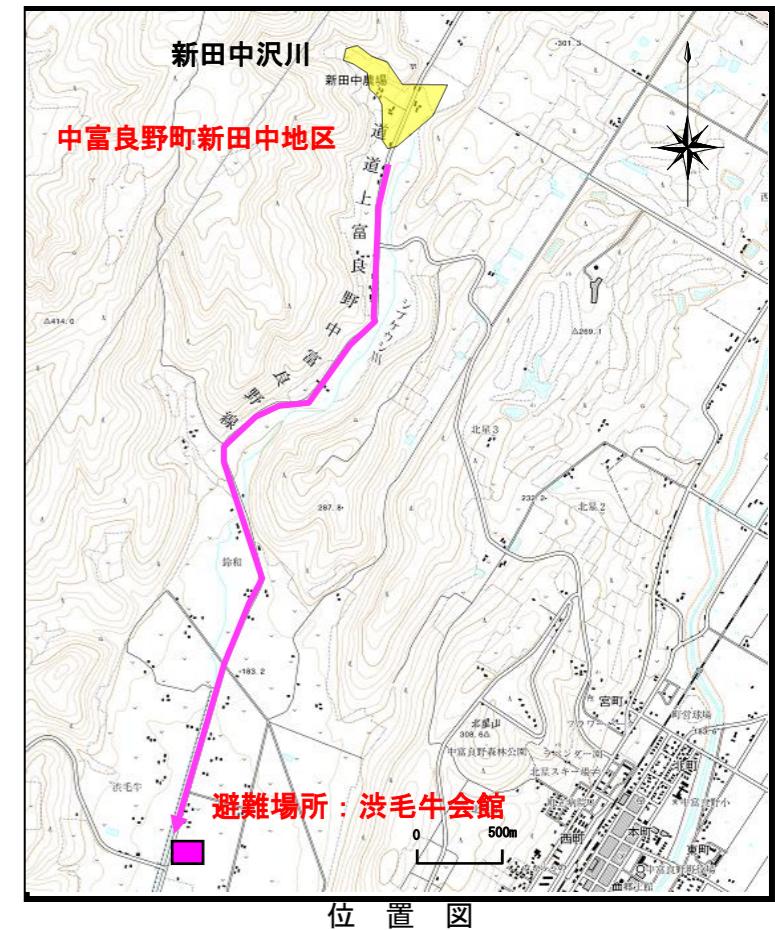
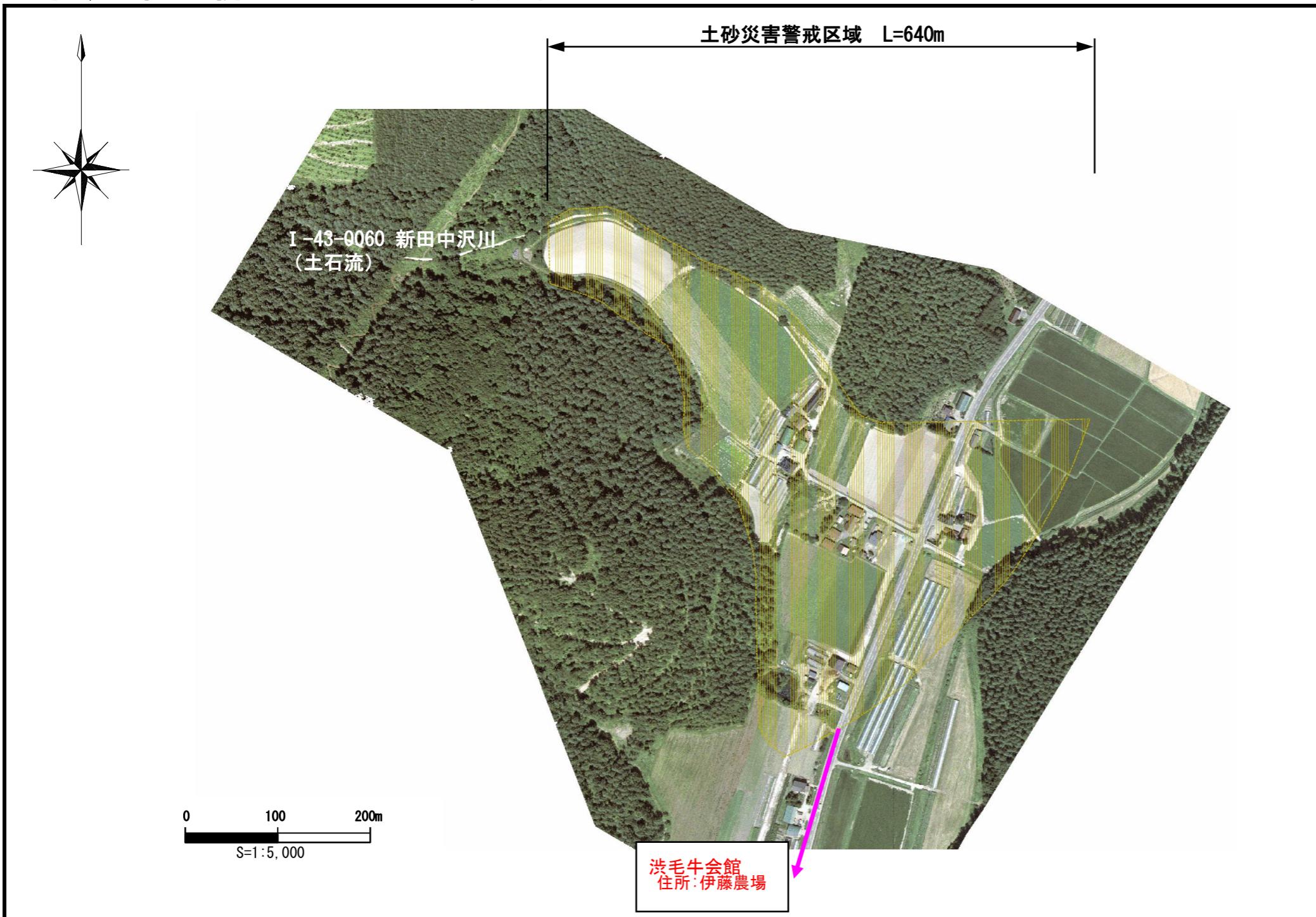


防災情報資料①

中富良野町 新田中地区 土砂災害ハザードマップ

作成年月：令和3年7月
発行元：中富良野町役場 総務課
連絡先：0167-44-2122
避難場所：渋毛牛会館



位置図

項目	記号
土砂災害警戒区域	■
土砂災害特別警戒区域	■
避難場所	■
主要な避難経路	—
災害時要配慮者関連施設	■

◎黄色で囲まれた範囲（土砂災害警戒区域等）は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域」です。

◎赤色で囲まれた範囲（土砂災害特別警戒区域等）は、「土砂災害が発生した場合、建築物に破損が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。

- ・露岩部（岩盤が露出している箇所）の直下は落石等による災害が発生するおそれがありますので、注意してください。
- ・土砂災害警戒区域等にお住まいのかたは、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。
- ・また、土砂災害警戒区域等以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場所などをよく確認しましょう。

防災情報資料② [中富良野町 新田中地区]

土砂災害に関する問い合わせ
中富良野町役場 総務課
電話 (0167)44-2122

土砂災害に備えて 大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

①土砂災害発生の危険性が認められる場所や避難場所等を確認しておきましょう！

自地からの確認



土砂災害警戒区域(通称):イエローゾーン

黄色で囲まれた範囲: 土砂災害のおそれがある区域のこと

- ハザードマップや現地において、危険な区域・場所や避難する経路・場所を確認しておきましょう。
- 避難訓練に参加しましょう。

土砂災害特別警戒区域(通称):レッドゾーン

赤色で囲まれた範囲: 土砂災害警戒区域のうち、建築物に損害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のこと

②雨が強くなってきたら、避難のタイミングをつかむための情報を入手しましょう！

○まずは、テレビやラジオ、インターネット等で気象情報(大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報)を確認しましょう。

○大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)を確認しましょう。

※土砂災害警戒区域等では、赤色以上の危険度となった場合には、早めの避難を心がけて下さい。

雨が強くなってきたら



大雨警報(土砂災害)を確認

色が持つ意味	相当する警戒レベル
極めて危険	-
非常に危険	4相当
警戒(警報級)	3相当
注意(注意報級)	2相当
今後の情報等に留意	-

危険度の高まる時間帯を確認しましょう。

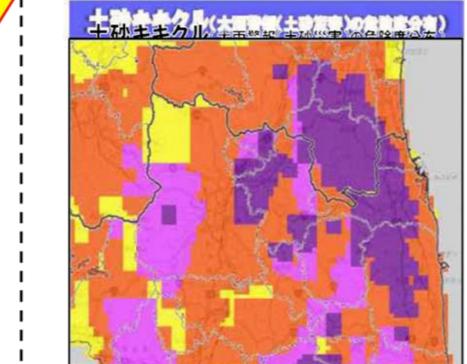
さらに土砂災害の危険度が上がる予想

土砂災害警戒情報を確認

<出典>気象庁「キキクル 大雨警報・洪水警報の危険度分布」

土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)を確認

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>
土砂災害の危険度を1kmメッシュごとに詳しく予想しています



スマホで簡単アクセス



うちは土砂災害警戒区域で、危険度が赤になったわ。
今は夕方で雨もひどくないし、今のうちに避難しましょう。

③前兆現象を見つけたら、直ちに役場など近いところに連絡しましょう！ また、早めの避難を心がけましょう！

前兆現象を見たら



こんな前ぶれ現象に注意！



山鳴りがする
雨が降り続いているのに川の水位が下がる
川の流れが濁り流木が混ざりはじめる
小石がパラパラ落ちてくる
地面にひび割れができる
斜面から水がふき出す

④(警戒レベル3 高齢者等避難) 危険な場所から高齢者等は避難(立退き避難又は屋内安全確保)！

・高齢者等とは、避難を完了させるのに時間を要する高齢者及び障害のある人等、及びその人の避難を支援する人です。

・高齢者等以外の人も必要により、外出などの行動を見合わせたり、避難準備をして自主的に避難するタイミングです。

⑤(警戒レベル4 避難指示) 直ちに危険な場所から全員避難(立退き避難又は屋内安全確保)！

- ・避難場所への立退き避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上(斜面と反対側の部屋)に避難(屋内安全確保)するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。

⑥避難の際は、こんなことに気をつけましょう！

- ・避難場所へ立退き避難する場合は、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域(浸水するおそれがある区域)を避けた避難経路を選択しましょう。
- ・渓流から直角方向に避難し、できるだけ渓流から離れましょう。
- ・携行品は、限られた物だけ(非常用持出品)にしましょう。
- ・服装は軽装とし、帽子、雨合羽、防寒用具を携行しましょう。
- ・火気の始末をし、火災が発生しないようにしましょう。
- ・戸締まりをしましょう。

避難のときは



町からの情報は、防災行政無線や広報車等でお伝えします。

大雨時には、回線が込み合う場合がありますので、前兆現象の通報以外には、できるだけ使用されないようにお願いします。

